

米国カリフォルニア州 生食用ブドウの出荷開始は遅れる

FreshPlaza 2023年5月12日

カリフォルニア州産ブドウの出荷シーズン前の兆候は、ブドウの生育が通常よりも遅れていることを示している。パンドルブラザーズ社のスコット・リード氏は、「弊社は通常、7月の第1週にフレームシードレス品種の梱包を始めるが、現在のところ、栽培作業は約2～3週間遅れている。天候が暖かくなれば、もっと早まるはずだが、それでも今年は例年どおりや、例年より早くなるとは思わない」と言う。(以下「」は同氏の発言)

カリフォルニア州では今年の生育期間の気温が低かったため、ブドウの出荷シーズンは遅く始まるようだ。しかし、量的な作柄は昨年と同様になると予想されている。「今から7月に収穫を開始するまでの間には当然様々な天候があり、それによって収量が減ることも、そうでないこともある。」同社では、3つの新しい品種 - 種無し緑色ブドウのシュガークランチとスイートグローブ、及び晩生の種無し赤ブドウのアリソン - の数量が増加している。「これらの品種は粒がより大きく、より硬く、より甘く、それらは弊社が新しいブドウ品種に求める主要な3要素なので、これらの品種が増えることを喜んでいる。」

メキシコからの移行 カリフォルニア州産の出荷シーズンは、現在出荷開始の準備中であるメキシコ産の出荷シーズンに続くが、メキシコ産も約10日遅れている。「メキシコ産からカリフォルニア州産へ移行に関しては、両方の地域が遅れているため、6月下旬の天候がどうなるかが重要だ。今シーズンの出荷は12月まで続くだろう。メキシコでは天候が順当で、雨や高温がなければ、7月に入るまでブドウの収穫を続けることができる。6月末にかけて悪天候があった場合、その影響で遅れる可能性がある。メキシコ産からの移行がどうなるかを知るためには、メキシコ産シーズンの終わり頃の天候がどうなるかを見る必要がある。」

ブドウの需要は、引き続き良いようだ。「ブドウは産地にとっての重要品目の一つであり、小売業者は高品質で状態の良いブドウを求めている。弊社はその要望に応えたいと思う。我々のコストが上昇したので、今年は小売業者に価格設定で協力してもらおう。我々は業界としてある程度の持続可能な価格を獲得する必要があり、今後数年間でそこに到達できることを願っている。」

執筆者: アストリッド・ヴァン・デン・ブローク

トルコ 今年のサクランボは有望

FreshPlaza 2023年5月12日

トルコの青果物輸出業者アニ・タリム社の営業販売部長であるメフメット・チャクマク氏は、同社はトルコ産サクランボの出荷シーズンが始まる前に、リンゴの出荷シーズンを終了するところだと言い、「リンゴの出荷は第20週(5月中旬)までに成功裏に終了するだろう。今シーズンは総出荷量を1万1,200トンに増やし、前のシーズンと比べて57%増加した。このうち約6,400トンのリンゴが輸出用で、残りはトルコの国内市場に出荷された。合計310個のコンテナに積み込み、インド、マレーシア、アラブ首長国連邦をはじめとする、さまざまな輸出先の港に向けて出荷した」と語った。(以下「」は同氏の発言)

同氏は、今シーズンのサクランボの作柄について、さまざまな面で有望なようだと言明する。「(リンゴの後)10日ほど間を空けて、弊社の最強の商品であるサクランボの新シーズンの梱包に取り掛かる。現在の園地の状況を見ると、今シーズンは、トルコ全土の産地における果実の品質、量の多さ、出荷期間の長さの点で、かなり有望である。開花期は良好で、霜や雨による大きな被害もなく、園地での着果量は多いようだ。第21週(5月下旬)にはヨーロッパ向けの陸上輸送用と、湾岸諸国や東アジア諸国などに向けた空輸用の梱包を開始する予定である。出荷シーズンは第32週(8月上旬)まで続くと思われる。」

サクランボの出荷シーズンには困難がないわけではないが、同氏はそれらの課題がサクランボの出荷に大きな影響を与えることはないと考えている。「梱包資材のコストと人件費の増大の二つが、今シーズン弊社にとって最も大きな課題となりそうだ。これは、過去数年間国内でインフレが抑制できていない結果だが、これらの課題が弊社の事業に与える影響はごくわずかであると考えている。我々はお荷シーズンの開始を楽しみにしており、すべての生産者と輸出業者にとって昨年よりも順調なシーズンとなることを心から願っている。」

執筆者: ニック・ピーターズ